

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-3 文化芸術の振興
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課文化振興室長 早弓太	電話番号	0852-22-6776
----------	-----------------	------	--------------

事務事業の名称	県立美術館事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	美術に対する県民の興味や関心が高まる	
事業概要	・平成11年3月に開館した県立美術館において、企画展・常設展の実施、教育普及活動、調査研究等の美術館活動を実施し、県民の文化活動の拠点とする。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			美術館入館者数	目標値		240,000	240,000	240,000	240,000
		実績値	234,846	225,890	228,879	199,289			
		達成率		94.10	95.40	83.10			%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	567,699	382,821
うち一般財源 (千円)	523,964	339,392

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・入館者数及び観覧者数とも平成11年3月の開館以降、過去最低の数値。
 ※（入館者数） [H22] 257千人 [H23] 235千人 [H24] 226千人 [H25] 229千人 [H26] 199千人
 （企画展観覧者数） [H22] 113千人 [H23] 101千人 [H24] 98千人 [H25] 69千人 [H26] 65千人

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成27年度以降、誘客を意識した企画展の開催が実現した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 ・入館者数及び観覧者数が減少傾向にある

②困っている状況が発生している「原因」
 ・企画展の内容

③原因を解消するための「課題」
 ・誘客できる企画展の検討

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・先導的な企画展や先端的な企画展だけではなく、誘客できる企画展の開催も検討する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--